

若者の定住率向上を目指して大学生の私たちができること

- 八王子市内の魅力を発信し、地方創生へ貢献する -

What we can do to increase the number of young people settling in the Hachioji city:

Contribute to local development by promoting the city's attractions

ちいかわ

佐藤 賢吾¹⁾, 田中 葉月¹⁾, 芦葉 香蓮¹⁾, 縄稚 麻里菜¹⁾,宮本 正彦¹⁾, 竹林 和史¹⁾指導教員 飯村周平¹⁾

1) 創価大学 教育学部

キーワード: 定住意向, 八王子の魅力, 学生, 住みやすさ

1. 問題と目的

八王子市は大学が複数存在しているため若者世代がかなり多い街である。しかし、卒業後は、東京 23 区内などの都心や各自の出身地で就労する者が多い。それによる八王子市の「若者の定住率」の低さが以前より課題となっている。そこで、本研究では、「若者の定住率」の向上を目的として、創価大学の学生を対象にアンケート調査を実施し、現在の大学生のニーズを把握することを試みた。その後、八王子市内の魅力をグループ内で分析し、作成した広告資料を提示することで学生に向けてアプローチをした。

2. 方法

(1)対象者と手続き

創価大学の学生に対して、Google フォームを用いた調査を行った。アンケート回答の同意が得られた 128 名 (1 年生 49 名, 2 年生 23 名, 4 年生 33 名, 3 年生 20 名, 修士 1 年生 3 名) を対象者とした。

(2)アンケート内容

1)八王子市は好きか、2)八王子市は過ごしやすいか、3)休日は市内(自宅)と市外(屋外)どちらで過ごすことが多いか、4)屋外で過ごすことが多い人はどこで過ごすか、5)屋外で過ごすことが多い人は市外で遊ぶ理由は何か、6)自宅で過ごすことが多い人はその理由は何か、7)自宅で過ごすことが多い人は何をして過ごすか、8)八王子市にどんな施設や場

所が欲しいか、9)八王子市にこれがあれば住み続けたいと思うものは何か、の 9 項目を調査した。

3. 結果

1)「八王子市は好きか?」では、「好き」(25.8%)、「やや好き」(64.8%)、「やや嫌い」(7%)、「嫌い」(2.4%)と、多少なりとも八王子市に好感を持つ人の割合が高いことが分かった。

2)「八王子市は過ごしやすいか?」では、「過ごしにくい」(7.8%)、「やや過ごしにくい」(23.4%)、「どちらともいえない」(31.3%)、「やや過ごしやすい」(28.9%)、「過ごしやすい」(8.6%)と、どちらともいえないと答える人が多い結果となった。

3)「休日は自宅と屋外(市外)どちらで過ごすことが多いか?」では、「自宅」(60%)、「市外(屋外)」(40%)と、自宅で時間を過ごす人が多かった。

4)「屋外で過ごすことが多い人はどこで過ごすか?」については、「市内(60%)」、「市外(40%)」という回答が多かった。

5)「市外で遊ぶ理由は何か?」(複数選択可)では、「行きたい場所があるから(100%)」、「知人に会いに行くから、八王子で遊ぶ場所がないから(50%)」という回答が多かった。

6)「自宅で過ごすことが多い理由」(複数選択可)は、「お金がかかるから(60.9%)」、「外出が面倒だから(59.4%)」という回答が多かった。

7)「自宅で過ごすことが多い人は何をして過ごすか?」(複数選択可)では、「動画配信を見る(82.6%)」、「睡眠(72.5%)」が多かった。

8)「八王子市にどんな施設や場所が欲しいか?」(複数選択可)では、大型ショッピングモール(LUMINE・イオンなど):29票、映画館:49票、大学周辺にスーパーや薬局:16票、娯楽施設(ラウンドワン・カラオケ店など):8票、であった。

9)「八王子市にこれがあれば住み続けたいと思うものは何か?」(複数選択可)では、交通機関の発展(地下鉄・バス・空港など):28票、商業施設の開設(ショッピングモール・映画観・遊園地など):35票、公共施設の増加(公園・図書館など):9票、スーパーの充実(大学付近に欲しい・安く買える店舗など):13票、という回答が得られた。

4. 考察

①興味関心と定住意向

「八王子市を好き、どちらかといえば好き」と答えた割合は90.6%とかなりの高い数値を示したが、「八王子市を住みやすい」と答えた割合は、全体の3割であった。定住意向に影響する背景の一つには、市に対する好き嫌いだけでなく、八王子市内の住みやすさも重要であるかもしれない。

②交通アクセスの課題

屋外で過ごす人の「八王子市外で遊ぶ理由」では「交通アクセスが良いから」に投票した人が0人であった。この結果から、八王子市は交通のアクセスが悪いと感じている人が多いと推察できる。また、交通アクセスが悪いと感じる理由として創価大生の多くが大学周辺に住んでおり、創価大学～JR八王子駅まではバスで30分程かかるだけでなく、時刻によってはバスを逃してしまうと20分程待たなければいけなくなるといった実情がある。そこでバスの本数や八王子駅への直通バスを増やすことが改善に繋がり八王子市内で遊ぶ人の割合や過ごしやすさが向上すると考えられる。

③低コストでの娯楽

「休みの日に自宅で過ごす」と答えた割合は73.4%と、YouTubeなどの動画配信サービスの利用や、課題等を行っている人が多かった。また、自宅で過ごす理由で1番多いものは「お金がかかるから」と、八王子の魅力に触れる機会や環境がないことが挙げられた。そのため、自宅外でも課題ができるスペースや広い広場、公園などの低コストで思い切り遊べる場所があると、八王子への関心を高められると考える。

④安心感(治安・居心地)

自宅で過ごす理由として「居心地がいいから」が40.6%、「休息が欲しいから」が46.4%と高い割合を示した。また、八王子に住みたい理由として、「自然環境(緑・公園など)がいいから」や、「都心から離れていて落ち着くから」が高い割合を示した。これらのことから、八王子の魅力として、「自然環境」と「都心から離れた落ち着き」が存在しているが、休日を自宅で過ごす方の割合が高いという矛盾が生じていることが分かった。よって、屋外でも休息感を得ることができる場所があれば、外出の機会が増える可能性があると考えられる。

5. 今後の予定

八王子市内の公園で動画撮影を行い、編集をしたプロモーションビデオを創価大学内の掲示板やSNS等で宣伝しながら、本大学の学生に対して1)八王子市の魅力が伝わったか、2)実際に行ってみたくスポットはあるかといったアンケート調査を11月に実施する。それらを分析し、我々の活動を通して地方創生に効果が得られたのかプレゼンを行う。

6. 引用・参考文献

八王子市「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(最終閲覧日:2023/10/20)

<https://onl.la/XrFxBzb>